

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

| | | | |
|----------|----|-----|----|
| 大阪市立三津屋小 | 学校 | 児童数 | 90 |
|----------|----|-----|----|

平均値

| 5年生 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール 投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|--------------|-------|
| 男子 | 15.92 | 19.79 | 31.82 | 40.56 | 47.44 | 9.46 | 146.36 | 18.97 | 51.48 |
| 大阪市 | 15.78 | 19.09 | 32.72 | 38.56 | 45.05 | 9.52 | 147.96 | 20.45 | 51.13 |
| 全国 | 16.01 | 19.19 | 33.79 | 40.66 | 46.90 | 9.50 | 150.42 | 20.75 | 52.53 |
| 女子 | 15.12 | 18.29 | 34.05 | 37.56 | 33.51 | 9.98 | 136.58 | 11.94 | 51.74 |
| 大阪市 | 15.64 | 18.06 | 37.62 | 36.76 | 34.65 | 9.83 | 139.56 | 12.71 | 52.47 |
| 全国 | 15.77 | 18.16 | 38.19 | 38.70 | 36.59 | 9.77 | 143.13 | 13.15 | 53.92 |

結果の概要

男女とも上体起こしについて全国平均を上回る結果となった。男子においては、上体起こし・20mシャトルラン・50mは全国平均を上回り、握力・反復横とびは大阪市平均を上回った。女子においては、上体起こしは、全国平均を、反復横とびは大阪市平均を上回ることができた。体力合計点については、大阪市と比較し男子が0.35ポイント上回り、女子については、0.73ポイント下回った。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」について、肯定的に回答した児童（男子）は、95.0ポイントで、全国（93.2）大阪市（93.4）平均を上回る結果となった。しかし女子については、76.3ポイントで、全国（86.2）・大阪市（84.5）平均を下回る結果となった。女子については、「嫌い」という回答がそれぞれ平均より2倍程度多いのは今後解決していく課題である。

質問項目「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」について男子10.0ポイント、女子21.8ポイントとなり、男子は、大阪市平均より割合は少なかったが女子においては、全国・大阪市平均より運動していないことが分かった。また、0分である児童は男子5.0ポイントと女子9.1ポイントで大阪市平均をそれぞれ1.3ポイント、1.2ポイント低いこと（全く運動をしていない児童は少ない）がわかった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本年度も昨年に引き続き校舎の建て替え工事により運動場の活動の制限があったが、体育の学習の時間にできること（運動時間・量の確保等）を意識して、運動を楽しむ授業実践に取り組んできた。

授業では、運動量を考えながら目標設定と振り返り（記録カードを活用し「目標」や「めあて」の見える化）を行い教材・教具の工夫をすることで限られた場所での効果的な指導を行ってきた。また、昨年度の課題でもあった柔軟性を高める指導も行ってきた。昼休みには近くの公園に行き走ったり体を動かしたりして運動量の確保を目指してきた。

しかし、昨年度から課題であった柔軟性については課題を残す結果になった。来年度も引き続き課題改善に向け、授業の中で柔軟性を高めることの意義やメリットを児童に意識させる取り組みを行っていく。

意識調査からは、スポーツに関する意識の苦手意識を持つ児童や運動に接する時間が全くない児童が全国平均より多いことがわかった。苦手意識の改善のため男女ともに体を動かすことの興味関心の向上を目指して、遠足や校外活動、集会活動の中で楽しく運動量が増やせるよう機会を増やしていく。

運動への興味関心を高めるためにスポーツ選手による特別授業などを企画し積極的に活用して運動への楽しさや興味関心をたかめていきたい。